

令和4年3月1日

大桑小学校保護者の皆様
学校運営協議会委員の皆様
地域の皆様

山県市立大桑小学校
校長 花村 伸二

令和3年度後期学校評価の集計結果について

早春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りありがとうございます。

さて、保護者の皆様からいただいた学校評価（後期分）及び、学校職員による自己評価をまとめました。この結果をもとに、学校の教育活動の一層の充実を図るよう、取り組んでまいります。また、保護者の皆様や学校運営協議会の皆様からいただいたご意見やご要望につきましては全教職員で検討させていただき、今後の学校運営の改善を図ってまいります。

なお、この学校評価については、山県市学校管理規則第8条3により、皆様に公表いたします

ご多用の中、評価と貴重なご意見を寄せていただき、ありがとうございました。

皆様からのご意見（抜粋）

○学校運営協議会の皆様から

- ・ 児童アンケート・保護者アンケートの両方から、子供たちは学校生活を楽しんでいる事が分かり、大桑小学校の良さが感じられます。
- ・ 児童、保護者アンケートより、少人数であることの特性を生かし、一人一人大切に育てられていると思いました。
- ・ 日頃、子供たちや教職員の皆様の活動を見るにつけ、すべての人たちが教育活動に努力されていること、大変素晴らしく感謝しています。
- ・ 「心の居場所」「自己有用感・・・」「いじめ防止」を大切にしていることが、児童の「学校が楽しい」という心の安定につながっていると思います。
- ・ 授業づくりの基盤である「学習規律」「学習姿勢」「学習習慣の定着」に力を入れていることが、学力の定着の手ごたえにつながっていると思います。

- ・ 学校単体ではなく、家庭、地域が一带となり、子供たちの成長を見守っていける取り組みが、更にできると良いかと思います。コロナ禍の状況下の中で、学校外での活動、地域との触れ合いの機会が制限されている状況ですが、地域行事への参加や親子教室、体験を通じて、親子でのコミュニケーションを図りながら、子供たちにいろいろな経験を積んでもらいたいと思います。
- ・ 将来の夢や目標を持った子供たちが少ないので、地域との協力によるキャリア教育にも力を入れ、様々な職業を知るきっかけ作りをしていただきたいと思います。
- ・ 今まで通りの行ってきた授業・行事ができなくなったこともあり、この機会に見直しを検討する必要があります。
- ・ 児童に生活規範が身に付いていないと思われる職員の方が多いようですが、大人から言われるルールよりも、子供たち自身にルールを考えさせて、守るという実行に移してはいかがでしょうか。強いては自分たちで考える力を身に付けてくれるのではないのでしょうか。
- ・ 学校教育や家庭教育以外にも、知識や経験を学べる場所がたくさんあり、その中で人間関係を学ぶことと思います。特に自然の中での体験は、子供たちが様々な命と触れ合い、自分や他人の痛みを覚えることで、バーチャルな体験のマイナス面も補うことができると思います。この観点に立って考えますと、地域社会との交流、自然との触れ合いの体験を通して、自己防衛、自立心、生命の尊厳等についてももっと学べる機会と時間を持っていただきたいと思います。

○保護者の皆様から（特に体づくりについてご意見をいただきました）

- ・ 自分が子供の頃は、冬場、体力作りとして、朝の時間にグラウンドを走っていました。
- ・ 低学年のみでの早期下校時に、高学年と一緒に帰るようにし、その間の待ち時間にグラウンド等での遊べる自由時間とする。
- ・ 他校の同級生と比べると腕、握力が弱い感じがします。例えば公園にある雲梯が全くできない。自分達の頃の小学生時代には、自分で勝手に学んで身体能力を上げていたと感じています。もう少し身体能力向上に努めて貰えるとありがたいです。
- ・ 校外研修時における、徒歩移動により体力作りを行うとよい。

令和3年度後期学校評価結果

調査日 令和3年12月10日～12月25日

数値は「そう思う」「少しそう思う」、「良好」「やや良好」、「とてもよい」「よい」という肯定的な回答の割合

R3前期と3%以上
の差があった
もの
R2後期と3%以上
の差があった
もの

児童アンケート

主に学校での生活にかかわること

	R3後期	R3前期	R2後期	R2前期		
1 自分にはよいところがある。	92.7%	92.7%	89.8%	91.8%		
2 先生は、自分のよいところをほめている。	100.0%	97.6%	93.9%	98.0%		↑
3 学校の友だちや先生に、大きな声であいさつをしている。	97.6%	92.7%	98.0%	95.9%	↑	
4 自分は、将来の夢や目標をもっている。	92.7%	87.8%	95.9%	85.7%	↑	↓
5 学校は楽しい。	100.0%	100.0%	95.9%	95.9%		↑
6 学校の授業は、楽しい。	100.0%	100.0%	95.9%	95.9%		↑
7 先生の授業は、分かりやすい。	100.0%	97.6%	100.0%	98.0%		
8 学校の一員として、進んで役に立つことをしている。	95.1%	92.7%	93.9%	91.8%		
9 よいことをしている友だちに「ありがとう」とよく声をかけている。	97.6%	100.0%	93.9%	91.8%		↑
10 友だちと協力し、ボランティアや委員会活動などで、よりよいくらしを作っている。	97.6%	90.2%	95.9%	89.8%	↑	
11 学校（生活）のきまりを守っている。	100.0%	97.6%	89.8%	98.0%		↑
12 授業の中で、自分の考えをがんばって発表している。	95.1%	92.7%	98.0%	93.9%		
13 友だちの意見を、うなずいたり反応したりして聞いている。	97.6%	97.6%	91.8%	91.8%		↑
14 教室の机の引き出し・ロッカーなど、自分の持ち物をきちんと整理整頓している。	92.7%	92.7%	85.7%	87.8%		↑
15 休み時間には、進んで外で遊んでいる。	100.0%	100.0%	95.9%	79.6%		↑
16 いじめがあった（見た）とき、相談できる人はいる。	97.6%	90.2%	93.9%	95.9%	↑	↑

主に家庭や地域での生活にかかわること

17 家庭学習を、目安の時間（例：6年生は60分）している。	97.6%	95.1%	89.8%	91.8%		↑
18 家や学園で、自分から進んで宿題に取り組んでいる。	100.0%	100.0%	95.9%	93.9%		↑
19 家族（学園の先生）に、学校であった話をしている。	87.8%	92.7%	87.8%	89.8%	↓	
20 家族（学園の先生）は、自分のよいところをほめている。	92.7%	92.7%	89.8%	91.8%		
21 学校から帰ってからの生活では、「早寝、早起き、朝ごはん」を行っている。	95.1%	97.6%	95.9%	93.9%		
22 家（学園）で、自分の部屋や自分の持ち物をきちんと整理整頓している。	95.1%	90.2%	79.6%	81.6%	↑	↑
23 地域の人に、相手に聞こえる声であいさつしている。	97.6%	97.6%	87.8%	98.0%		↑
24 大桑で行われている行事、ボランティアなどに、よく参加している。	90.2%	92.7%	87.8%	83.7%		
25 ドライバーとアイコンタクト（会釈）をしている。	90.2%		91.8%	89.8%	↑	

保護者アンケート

主に学校の取組にかかわること

	R3後期	R3前期	R2後期	R2前期		
26 子どもは、喜んで学校に通っている。	100.0%	97.5%	95.7%	95.7%		↑
27 子どもは、授業が楽しいと言っている。	100.0%	95.0%	93.5%	95.7%	↑	↑
28 子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	100.0%	95.0%	95.7%	91.3%	↑	↑
29 学校は、規律ある生活やいじめを許さない風土をつくりあげている。	100.0%	100.0%	97.8%	95.7%		
30 学校は、子どもを理解し、よさを伸ばすように努めている。	100.0%	100.0%	95.7%	97.8%		↑
31 学校の活動の様子が、便りなどを通して伝わっている。	100.0%	100.0%	95.7%	100.0%		↑
32 来校時や電話、相談などの学校職員の対応は適切である。	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

主に家庭や地域での生活にかかわること

33 「早寝・早起き・朝ごはん」等の規則正しい生活に努めている。	84.4%	85.0%	84.8%	89.1%		
34 家庭では、ゲームやネットより、スポーツや外遊びを優先している。	78.1%	72.5%	67.4%	43.5%	↑	↑
35 自分の部屋や道具の整理整頓ができています。	53.1%	52.5%	52.2%	50.0%		
36 役割を決めてお手伝いをしている。	96.9%	87.5%	71.7%	65.2%	↑	↑
37 家庭学習をする習慣が身に付いている。	93.8%	90.0%	89.1%	76.1%	↑	↑
38 家庭（学園）内で、子どものよさをほめている。	100.0%	100.0%	95.7%	95.7%		↑
39 子どもは、いつでもどこでも誰に対しても挨拶ができる。	87.5%	82.5%	76.1%	69.6%	↑	↑
40 子どもは、学校のでできごとや友だちの話をよくする。	90.6%	95.0%	84.8%	82.6%	↓	↑

本年度の学校やPTAの特徴的な取組について

41 学校が教え方を工夫するなど、分かりやすく教えることについて	96.9%	100.0%	100.0%	100.0%	↓	↓
42 かの木フェスタや学習発表会、福祉施設との交流など、地域と連携した活動について	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%		
43 安全への配慮や、自分の命を自分で守る力をつける取組について	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%		
44 体育館で行うスポーツ用品を利用した体力づくりについて	96.9%	100.0%	100.0%	100.0%	↓	↓
45 たくましい子に育てる「よさの通帳・ハイタッチ挨拶・ほめほめカレンダー」の取組	100.0%	97.5%	100.0%	97.8%		
46 新型コロナウイルス感染症対策について	100.0%					

大桑小学校 令和3年度 年度末 職員自己評価表

できた(5点) おおむねできた(4) ややできてない(2) できてない(1)

重点	今年度の観点	評価の窓	R3後期	R3前期	0.5以上の増減
学びをすすめる力の育成 「 学びをすすめる力の育成 」が実感できる授業づくりと自分たちで	目指す姿の定着(学力)	めざす学力を児童に身に付ける。	4.0	3.4	◎
	目指す姿(授業)の明確化と見届け	本時で目指す姿を具体的にをもって授業を始める。見届けの場を明確にし、状況に応じた指導・援助を行う	4.0	4.0	
	教材教具の工夫と活用	学習意欲を高め、効果を上げるために教材教具を工夫する。	4.4	3.7	◎
	目指す姿の定着(表現力)	児童は、自分の意見を積極的に発言している。	3.5	3.5	
	子どもの追究意欲を高め思考を大切に	子どもに言わせたい言葉を具体化し、そのためにどのような展開、発問をするかを吟味する。	3.4	3.0	
	学習のねらいに迫るための学習活動の工夫	自分の考えを書いたり、相手に伝えたりする場を位置付ける。	3.9	3.4	◎
	目指す姿の定着(学習規範)	児童に学習規範が身に付いている。 (話し方・聞き方、ノートの使い方)	3.7	3.5	
	学習規律・学習姿勢・学習習慣の定着	学習姿勢、学習習慣の定着を継続して指導する。	4.2	4.2	
	目指す姿の定着(学習習慣)	児童の発表(話)は最後まで聞く。 (児童の発表中に口をはさまない) 活動に節目をもって授業を進める。(活動を区切るときは、全員が止めたことを見届けてから、次の指示を出す。) 授業は、時間を守って終わる。	4.0 4.5 3.9	4.0 4.2 3.2	 ◎
	家庭や地域との連携 学習内容を確実に定着させるための指導	学年や実態に応じた家庭学習が定着している。	4.2	4.0	
温かい人間関係の中で支え合いながら、たくましく生きる力を育成	目指す姿の定着(自己有用感)	児童の自己有用感が高まっている。	4.2	3.8	
	日常生活における豊かな心を育む活動(体験活動等)	教育活動全体を通して道徳的実践ができる指導・啓発に努める。	3.9	3.8	
	心に響く道徳の授業	話し合いや交流を通して、道徳的価値について考える	3.2	2.8	
	自己啓発力・自己指導能力の育成	一歩立ち止まって、子供自身に「考えさせる」「見つめさせる」ゆとりをもった指導・啓発にあたる。	3.8	3.6	
	意図的計画的な指導(見通し)	学級(学校)目標を意識して活動と指導を関連づけた実践を行う。	3.9	2.9	◎
	心の居場所となる教育環境	存在感や所属感・有用感を味わうことができる学級(学校)集団づくりに努める。	4.2	3.9	
	自己有用感と自己肯定感の醸成 「ありがとう」と「すごいね」の使い分け	良い行いには、子供にも感謝の気持ちをもって接し、「ありがとう」の言葉が広がるよう努める。 行為と心情をつなげて価値に気付かせるなどほめる指導の内容を高め、自己肯定感を育てていく指導に努める。	4.6 4.0	4.5 4.0	
	いじめ防止への啓発	いじめを絶対許さないという構えで、「いじめ見逃し0」に努める。	4.6	4.6	
	目指す姿の定着(生活規範・生活習慣)	児童に生活規範が身に付いている。 (きまり・ルールを守る) 児童に生活習慣が身に付いている。 (身の回りの整理・整頓等) 誰にでも相手に伝わる声であいさつをしている。	2.9 3.2 3.9	3.3 3.2 3.5	
	生活規範・生活習慣の定着	生活姿勢、学習習慣の定着を継続して指導する。	4.2	3.9	
家庭や地域との連携	心の教育を広める学級だよりの発行や懇談の場の設定などに努める。	3.5	3.2		
健康や安全の育成 健康や安全の育成について、自ら考え行動で	目指す姿の定着(自分の命を守る力)	自分の命は自分で守る力が高まっている。	4.2	4.0	
	危機回避能力(危険を「見立てる」力)の育成	事故防止に努め、命を第一にする指導に心がける。	4.4	4.5	
	目指す姿の定着(体力づくり)	児童は、進んで外で遊んでいる。	4.2	3.9	
	めあてをもたせた体力づくり	運動に親しむ態度を育てる。	4.2	4.0	
	健康的な生活力の育成	自分の心身の状態に関心をもち、健康で安全な生活を送ることができる指導を行う。(けんこうカードの活用など)	4.4	3.3	◎
	定期・日常的な教育相談体制の充実	日常的な教育相談ができる場が一人一人に位置づくよう心がける。	4.5	4.5	
	職員の危機回避体制	「大丈夫かな?」「ちょっと変だな?」と思ったら、すぐ報告・対応に努める。	4.6	4.2	
	家庭や地域との連携による健全育成	家庭や地域と連携して、健康安全教育を推進する。	4.2	4.0	
ふたつと地域連携を基に	目指す姿の定着(郷土愛)	進んで地域の行事や活動に参加している。	4.0	3.5	◎
	自然と歴史を基にした「ふるさと学習」の充実	点ではなく線でつながる地域貢献的な学習活動等を仕組み、ふるさと学習の充実を図る。	4.2	3.5	◎
	地域人材(地域団体)の活用	積極的に地域人材(地域団体)を活用し、学習活動の充実を図る。	4.2	3.2	◎
	家庭や地域との連携による健全育成	家庭や地域と連携して、ふるさと教育を推進する。	4.2	3.5	◎